

## 協会ニュース

令和3年11月10日  
中国地区品質経営協会  
広島市西区横川町3丁目5番9号(世良ビル404号)  
TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845  
e-mail [gmac@a1.mbn.or.jp](mailto:gmac@a1.mbn.or.jp) URL <http://qmac.jp/>

### 令和3年度第1回シンポジウム「モノづくりマネジメント 技術革新」

開催日時：令和3年10月29日(金) 13:20～17:00

場 所：ウェブ配信セミナー(ウェビナー)方式

参加者：38企業・団体 366名

2015年に国連で採択された「SDGs」、そして日本政府が昨年に宣言した「2050年カーボンニュートラル」、モノづくり企業においてこれらの取組みは、社会的課題解決に対する貢献だけではなく、新たなビジネスチャンスや企業価値の向上など様々なメリットが考えられます。そこで今回は「SDGs」と「カーボンニュートラル」へ精力的に取り組まれている企業より、2名の方を講師にお招きしご講演を頂きました。また、今回のシンポジウムは当協会では初となる、講演やパネルディスカッションもそれぞれの場所からオンラインで繋いで行う「完全オンライン開催」となりましたが、大きなトラブルもなく、またweb開催ということもあり多くの企業より多数の方に参加を頂きました。

講演第1部では、「建設会社が取り組むSDGsの活動」と題して、清水建設株式会社の金子美香氏より、清水建設様での実際の取組みについて、具体的な事例も交えてご紹介頂きました。取組み体制、ビジョン・目標の設定から実際のアクションなど、これから新たにSDGsへ取り組む企業にとって、非常参考になる講演でした。

講演第2部では、「中国電力の2050年カーボンニュートラルへの挑戦 ～脱炭素社会の実現に向けたギアチェンジ～」と題して、中国電力株式会社の井上敏彦氏より、火力発電分野での取り組みをメインテーマとして、再生可能エネルギーの開発、発電所から排出されるCO<sub>2</sub>分離回収の実証試験、アンモニア混焼試験など、火力発電のCO<sub>2</sub>排出削減に向けた技術の開発・導入について、これまでの歴史、環境負荷低減に向けた技術対策、最新技術の状況についてご講演頂きました。

ご講演後は、当協会 児玉 照三 副運営委員長をコーディネーターとしてパネルディスカッションが行われ、事前に会員企業・団体様から寄せられた多くの質問を基に、ディスカッションしました。その中では、実際の取組みの中で苦労した事や、具体的な事例に対する質問など、シンポジウムに参加された方のテーマに対する高い関心度が伝わるものとなりました。

シンポジウムの開催終了後に皆様より頂いたアンケートでは、「早い段階でSDGsの貢献に向けた組織体制の整備、経営ビジョンへの反映、具体的取組みをされており、大変参考になった」「日本の電力政策・電力会社の施策を具体的にお聞きして、カーボンニュートラルを目指す考え方の整理ができた」などの感想が寄せられました。また、参加動機に講演テーマを理由にあげられたご回答も多く、シンポジウムに対する満足度の高さからも、ご参加頂きました皆様にとって、非常に有意義なシンポジウムになったものと思います。



清水建設株式会社  
金子 美香 氏



中国電力株式会社  
井上 敏彦 氏



コーディネーター  
児玉 照三 氏



オンラインによるパネルディスカッションの様子